

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 薬剤部 大山 將治

【研究責任者】

聖路加国際病院 薬剤部 大山 將治

当院に入院した方を対象とした

一般注射薬混合調製に関する研究

1. 研究の対象

2014年7月～2018年6月の期間に入院され、注射薬を処方された方

2. 研究の目的・方法

医療安全や院内感染、品質保証の観点から注射薬の混合調製（複数の薬剤を混ぜること）に薬剤師が積極的に関与することが求められています。

聖路加国際病院では従来、看護師が注射薬の混合調製を行っていましたが、より安全性を向上するために2016年6月より薬剤師が注射薬を無菌環境下で混合調製を行うこととなりました。そこで薬剤師による注射薬の混合調製によって、医療安全に寄与しているか調査することを目的としています。

2014年7月～2018年6月の期間に入院され、注射薬を処方された方の内、薬剤師による注射薬の混合調製業務の導入前後で、薬剤の計量間違いや取り間違いなどの誤った医療行為が減少したかを比較し解析致します。

なお、この調査では通常保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2021年3月31日までの予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 入院病棟、病歴、注射薬の処方内容、医療過誤や副作用等の発生状況、カルテ番号 等